

茨城大学図書館の

土曜アカデミー

2019年度後期
(2019.10~2020.2)

地域の皆様と、学生たちと、ともに学び楽しむイベント、講座のご案内

すべての事業が
無料です

申し込みも
不要です

どなたでも
ご参加
いただけます

主催 茨城大学図書館

ビブリオバトルin茨城大学 兼 全国大学ビブリオバトル2019茨城地区予選会

【日時】 2019年10月19日(土) 14:00~16:30

【内容】 「本の魅力を伝え合う知的書評合戦!」

第5回目を迎える「ビブリオバトルin茨城大学兼全国大学ビブリオバトル2019茨城地区予選」の開催が決定しました。今回は、茨城大学の学生・大学院生を対象とした大学生の部のほか一般の部も開催します。大学生の部は全国大学ビブリオバトル予選会を兼ねています。

ビブリオバトルは、出場者それぞれが「この本は面白い!」「この本を他の人にも読んで欲しい!」と思う「心の一冊」の魅力を5分間で語り、参加者全員の投票で「一番読みたくなった本No.1」を決める知的ゲームです。さあ、茨城大学図書館までお集まりください。

なお、発表参加者(バトルー)は事前申し込みが必要となりますが、観覧は申込不要です。詳細は、図書館ホームページをご覧ください。

【会場】 茨城大学図書館本館1階ラーニングcommons

【共催】 茨城県ビブリオバトル実行委員会



ICASセミナー：文理融合で進める防災・地球環境変動研究

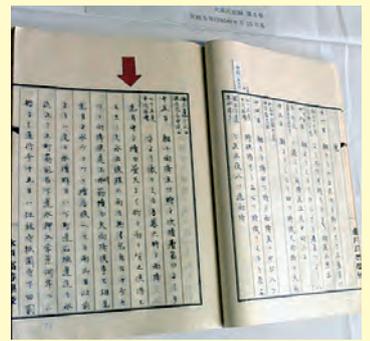
茨城大学地球変動適応科学研究機関(ICAS)と国文学研究資料館との共同研究として、2017年度から文理融合型の防災・地球環境変動研究を実施しています。その成果の一端を2回シリーズのセミナーとして紹介します。

①【日時】 2019年11月9日(土) 15:00~16:30

【講師】 野澤 恵(茨城大学理学部准教授)

【内容】 「古日記は科学の宝が隠れている!？」

現在、茨城県内の江戸時代の日記を使って、その時代の天気を調べています。日々の日記には天気を書いてあります。例えば夏に晴れが多いと気温は高い気がしますね。逆に雨が多いと気温は低い、など天気の情報抽出することで科学的な検証をすることができます。では、江戸時代後期の茨城の天候はどうだったのでしょうか?それ以外にも天文や地震の情報も書かれています。もしかすると皆さんの祖先が残した日記が見つかったら、大発見につながるかも?



②【日時】 2019年12月14日(土) 15:00~16:30

【講師】 小荒井 衛(茨城大学理学部教授)

【内容】 「古地図や米軍写真を使って災害リスクを知る」

日本は様々な災害に見舞われやすい国土です。昔その場所がどのような地形だったのか、どのような開発をされてきて今のような形になってきたのかによって、災害の危険性や様相が変わってきます。すなわち、その土地の履歴を知ることがとっても大事になってきます。古地図や終戦直後の空中写真等を使って、その土地の履歴を知り、その土地の災害リスクを知る方法を紹介いたします。その土地の過去の状況を知ることが出来る情報は、インターネット等で気軽に入手することが出来ます。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール

聞いてみっぺ・語ってみっぺ・方言昔話4

【日時】 2019年11月30日(土) 13:30~16:00

【講師】 杉本 妙子(茨城大学人文社会科学部教授)

【内容】 知っている昔話(民話)も、方言だと、とてもおもしろかったり、味わい深かったりと思いませんか?しかも、同じお話でも方言によって違ったお話に聞こえてきます。それが、暮らしの中で育まれてきたことば=方言の力なのだと思います。本講座では、茨城弁の昔話や東北弁の昔話などを、それぞれの地域出身の方々に語っていただきます。いろいろな地域の方言のお話を皆さんといっしょに楽しみながら、方言の働き・魅力を考えたり、方言・民話を育んできた地域の良さを再発見したりしたいと思います。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール 【後援】 茨城県教育委員会(予定)



読売新聞連携講座「茨大が探る宇宙の歴史!電波と隕石のメッセージ」

【日時】 2019年12月7日(土) 13:30~15:30

【講師】 米倉 覚則(茨城大学理学部教授、宇宙科学教育研究センター長)

藤谷 涉(茨城大学理学部助教)、岡村 典夫(茨城県立土浦第三高等学校教諭)

茨城大学星見同好会

【内容】 茨城大学が強みとする研究分野のひとつが「宇宙科学」です。高萩市にある理学部附属宇宙科学教育研究センターでは、口径32メートルの宇宙電波望遠鏡2基を使って宇宙からやってくる電波を観測し、他大学などと連携してブラックホールの姿などを捉える研究をしています。また、隕石の化学分析を通じた小惑星のふるさと探しの研究も、最近大きな成果がありました。流星群の観測も期待される12月。最新の宇宙研究の話聞きながら、星に思いを馳せてみませんか?県内で天体観測のイベントなどを開いている岡村氏や茨城大学星見同好会による天体観測ミニ講座&望遠鏡展示紹介コーナーもご用意しています。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール 【共催】 読売新聞水戸支局



岡倉天心セミナー vol.6

【日時】 2020年1月11日(土) 13:00~15:00

【講師】 藤原 貞朗(茨城大学五浦美術文化研究所所長、人文社会科学部教授)

小林 英美(茨城大学五浦美術文化研究所所員、教育学部教授)

清水 恵美子(茨城大学五浦美術文化研究所所員、全学教育機構准教授)

【内容】 「新収蔵品の公開と解説」

五浦美術文化研究所は今年度、岡倉覚三(天心)の美しい書簡や、弟の由三郎が所有していた50通以上の絵葉書とアルバム(1904年前後)など、とても興味深い資料を新たに入手し、さらにコレクションが充実しました。また、貴重な「茶の本」の絵入りフランス語版(1927年)とドイツ語版(1923年)なども入手しました。6回目となるセミナーでは、これらの新収蔵資料をじかにご覧いただきながら、当研究所の所員による解説を行います。岡倉の独特の書体や明治末期のイギリスやフランスの絵葉書や切手、珍しい挿絵などを堪能できるまたとない機会となります。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール 【共催】 茨城大学五浦美術文化研究所



みんなの考古学 —水戸市発掘調査報告会withどきどき講座2019

【日時】 2020年2月1日(土) 13:00~16:30

【講師】 田中 裕(茨城大学人文社会科学部教授)

【内容】 「水戸市遺跡発掘調査報告会2019-2020&城里町徳化原古墳報告会」

那珂川沿いは遺跡の宝庫です。歴史深いこの土地にお住まいになっていることをあらためて実感していただくため、水戸市教育委員会と連携し、水戸市内において日々行われている埋蔵文化財発掘調査の成果とともに、茨城大学人文社会科学部考古学研究室が2019年から発掘調査に着手している城里町徳化原古墳の最新成果を、市民・県民の方々に向けて広くご紹介します。身近な歴史の魅力を堪能していただき、埋蔵文化財の保護・保存及び調査・研究に対する理解を深めていただければ幸いです。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール 【共催】 水戸市教育委員会

【後援】 城里町教育委員会、茨城大学考古学研究会



城里町徳化原古墳現地説明会の様子(2019年3月)

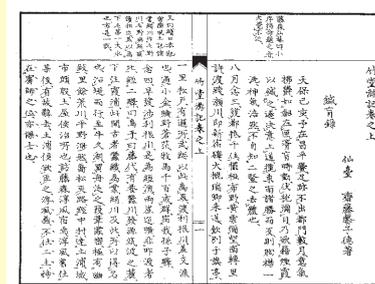
江戸時代の漢文を読む

【日時】 2020年2月8日(土) 15:00~16:30

【講師】 堀口 育男(茨城大学人文社会科学部教授)

【内容】 現代の人間にとって、漢詩や漢文はあまり身近に感じられないかもしれませんが、江戸時代は漢詩文が非常に身近だった時代です。今回は江戸時代末期、齋藤竹堂という一学徒が江戸から常陸、房総地方を旅したときのことを漢文で綴った作品(『鍼育録』)を紹介いたします。筑波山に登ったり、霞ヶ浦を舟で渡ったりし、地元の有名人(藤森天山、長島尉信、僧侶時代の佐久良東雄、須田柿麿、宮本茶村など)と交流しています。時間の都合上、その一部分を取り上げ、原文を分りやすく読み解きます。

【会場】 茨城大学図書館本館3階ライブラリーホール



鍼育録(しんこうろく)

ブックカフェ

①【日 時】 2019年11月9日(土) 13:00~14:45

【テキスト】 メアリー・シェリー「フランケンシュタイン」

(『フランケンシュタイン』、角川文庫、2015年、などどの出版社のものでも)

天才科学者フランケンシュタインが創造した怪物の物語は、怪奇映画等としてもくりかえし映像化・作品化されてきました。作品の優れた文学性・芸術性と、現代に通じるさまざまな問題が書きこまれていることから、今こそ読み直すべき作品として、近年、高く再評価されている本作をじっくりと味わい、語り合いたいと思います。

〔同日午前にはワークショップ「文芸批評を書いてみよう」を行う予定です。関心のある方は西野先生までメールでお問い合わせ下さい。〕

yukiko.nishino.xiye@vc.ibaraki.ac.jp

②【日 時】 2019年12月14日(土) 13:00~14:45

【テキスト】 カミュ「異邦人」

(『異邦人』、新潮文庫、1963年、などどの出版社のものでも)

太陽のせい殺人を犯した主人公ムルソーを通して「不条理」を描く本作は、ノーベル文学賞も受賞したカミュの代表作。新しい時代の青春小説とも言われ、人間の本質を深く考えさせられます。初めて読む方もこの機会に手にとってご参加いただき、他の方と語り合うことでさまざまな発見ができる読書会のよさ、楽しさを実感していただければと思います。

③【日 時】 2020年2月8日(土) 13:00~14:45

【テキスト】 井伏鱒二「山椒魚」

(『山椒魚』、新潮文庫、1948年、などどの出版社のものでも)

「山椒魚」は井伏鱒二の処女作であり、「黒い雨」と並ぶ彼の代表作です。とても短い作品ですが、作者の持つ独特のユーモア、飄々としていながら叙情あふれ、余韻が残る文体を十分に味わうことができます。短編「夜ふけと梅の花」「屋根の上のサワン」、長編「黒い雨」、翻訳したロフティング作の「ドリトル先生シリーズ」など井伏の文学活動全体をご紹介します。井伏鱒二と同時代の日本文学への理解を深めたいと思います。

【ナビゲーター(講師)】 西野 由希子(茨城大学人文社会科学部教授)

【内容】 誰でも聞いたことがある、以前に読んだことのある「名作・古典」を読んで集まり、西野先生のレクチャーを受けながら、グループに分かれて語り合います。これまでとちがった本の読み方ができ、作品への理解が深まります。はじめて参加する方、これから読んでみようという方なども気軽においでください。読書の幅を広げ、本を読む楽しさを味わいましょう!

*テキストはお持ちのものなど、どの出版社の版でもかまいません。できるだけ、事前に読み、当日その本を持っておいで下さい。お好きな回だけの参加も可能です。

*ご飲食代は各自ご負担いただきます。

【会場】 茨城大学図書館本館1階ライブラリーカフェ(エントランスホール集合)

【後援】 人文社会科学部西野ゼミ



「水戸藩の史学者・菅政友が集めた 1万点のコレクションを後世へ

—菅文庫修繕資料お披露目展—

2019年春、茨城大学図書館では所蔵する菅文庫(かんぶんこ)を守るためにクラウドファンディングを実施しました。古書修繕を目的とするこの試みは、多くの方のご厚意により成立し、このたび9点の資料がカビの除去や虫損ページの補修を経て甦りました。

今回は、クラウドファンディングによって甦った資料を、修繕の工程とともに、数点展示します。また、菅文庫の代表的な資料も併せて展示し、菅文庫の学術的な価値を皆さまにご紹介します。

菅文庫(かんぶんこ)…

幕末～明治時代の水戸藩の史学者・菅政友(かんまさすけ・文政7<1824>年～明治30<1897>年)が蒐集した蔵書の大部分を収めたもので、昭和26<1951>年、茨城大学設立期成会によって菅家から購入・寄贈され本学図書館で保管されている古典籍のコレクション。

【会場】 茨城大学図書館本館1階展示室

【会期】 2019年11月1日(金)～17日(日) 11月3日、4日は休館
平日9:00～17:00/土日11:00～17:00

【主催】 茨城大学図書館

入場無料



河中島五箇度合戦記(修繕前)

茨城大学では、土曜アカデミーの他にも社会連携センターにおいて公開講座・公開授業を開講しています。詳細は、茨城大学社会連携センターwebサイト<http://www.scc.ibaraki.ac.jp>でご確認ください。

問合せ先 茨城大学社会連携センター TEL 029-228-8413

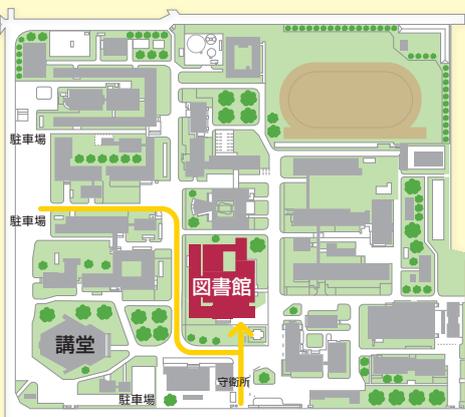
問合せ先 茨城大学水戸キャンパス 〒310-8512 水戸市文京2-1-1

図書館 本館 TEL 029-228-8076 e-mail ser-lib01@ml.ibaraki.ac.jp

水戸キャンパス



水戸キャンパス内案内図



JR水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行(栄町経由)」に乗り、「茨大前」で下車。時間帯によっては、「茨大正門前」(最寄り)で下車することができます。(バス乗車時間は約25分)

※本学にお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。



ibadai_lib



茨城大学図書館の
Twitterをはじめました。

本事業は、自然災害等により中止となる場合があります。

最新情報は、茨城大学図書館webサイト<http://www.lib.ibaraki.ac.jp>/やツイッターでご確認ください。

2019年、茨城大学は
創立70周年

